

海上の森ミニセミナー第 14 回「海上の森の自然 ～生物季節調査を通して～」

- ・日時：平成 29 年 9 月 23 日（土曜・祝日）13:30～15:00
- ・話題提供者：石川 明博 氏（NPO 法人海上の森の会 自然調査グループ 生物季節調査・自然ウォッチングリーダー）

海上の森とは



海上の森は瀬戸市南東部に位置する丘陵地帯で、面積は約 530ha（東山動植物園の面積の約 9 倍）あり、その大部分は県有林である。地質は大部分が花崗岩と砂礫層で、砂礫層については 700 万年前～100 万年前にこのあたり一帯に東海湖が存在し、流入する矢作川・木曾川などの上流から砂礫が運ばれ氾濫を繰り返したことよって、角がとれた砂礫の層が存在している。

明治 30 年代には木がほとんど生えておらず、はげ山状態であった。その後、明治 30 年代後半～40 年代にかけて治山事業が行われハギ・ススキ・ハンノキ・ヒメヤシャブシなどの植物が植えられ、昭和 30 年代ごろから急速に森林が回復した。

NPO 法人海上の森の会

海上の森の会は、今年 5 月時点で 116 名の会員が入会しており、グループは全部で 5 つある。

- ・自然調査グループ：生物季節調査、自然ウォッチング、海上の森ツアー(案内)、調査学習会など
- ・里づくりグループ：耕地管理、里と森の教室など
- ・森づくりグループ：森づくり、企業連携、木工芸教室など



- ・里山文化グループ：生活史調査、里の暮らし、案内巡視、サテライト管理など
- ・情報広報グループ：HP 管理、会報発行、広報、Facebook など

生物季節調査

生物季節調査は、愛知万博翌年の 2006 年 1 月に自然調査グループの 10 名でスタートし、現在は毎週木曜日に行われ、通算 500 回を超えている。コースは林道コース（2006 年 1 月～）と湿地コース（2017 年 3 月～）に分かれており、コース内でそれぞれ A、B、C、D のエリアに分けられて草本・樹木の開花状況、昆虫、野鳥が記録される。昨年の実績では、草本 292 種（シダを除く）、木本 126 種、昆虫 197 種、野鳥 58 種が調査において確認された。

●各コース・地区で観察される動植物

各コース・地区で観察される動植物を写真付きで紹介。各植物の特徴やその植物に関連した昆虫や野鳥などが紹介され、名前の由来や逸話なども紹介された。

・林道コースで観察される動植物

A 地区（駐車場～物見山登山道入口）



オオイヌノフグリ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、ジュズダマ、ノジスミレ、ニオイタチツボスミレ、マキノスミレ、ツボスミレ、ヤハズソウ、ヤナギシントメハナガタフシ、ハナハマセンブリ、タガラシ、シライトソウ、バイカツツジ、ツクバネウツギ、キハギ、コアジサイ、カタバミ、ムラサキサギゴケ、タンザワ

ウマノスズクサ・ジャコウアゲハ、ヒメコウゾ・クワカミキリ、クサノオウ、エゴノキ・エゴツルクビオトシブミ・ヤマガラ、タニウツギ、ウワミズザクラ、タケニグサ、ヤブカンゾウ、アケビ・ヒメアケビコノハ、ママコノシリヌグイ、オカトラノオ、ツルニンジンなど

B 地区（物見山登山道入口～田んぼの入口）

ヘビイチゴ、ヤブヘビイチゴ、オヘビイチゴ、ミツバツチグリ、アキノキリンソウ、~~キヨスミウツボ~~、ヒナノシヤクジョウ、ヒヨドリバナ・アサギマダラ、スルガテンナンショウ、ノササゲ、チゴユリ、ハンゲショウ、ミカワチャルメルソウ、サネカズラ、ハナイカダ、ナギナタコウジュ、アケボノソウ、アキチョウジ、ツルアリドオシ、ヤブレガサ、ヤマヒョウタンボク、ヤマジノホトトギス、センブリ、クマヤナギ、ゲンノショウコ、ヤブレガサ、ウワミズザクラ・カトウツケオグモ など



・湿地コースで観察される動植物

A 地区（海上の森センター～赤池）



スミレ、アリアケスミレ、アリアケヒメスミレ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、アオイスミレ、アメリカスミレサイシン、ネジバナ、キツネノマゴ、シロバナタツナミソウ、タニギキョウ、クリ、キブシ、アズキナシ、テイカカズラ、アワブキ・アオバセセリ、イワガラミ、クサギ、キンミズヒキ、ヒメキン

ミズヒキ、ミズタマソウ、ネコノメソウ、ダイコンソウ、ミズキ、ハナイカダ、コバノカモメヅル、コカモメヅル、ヒヨドリバナ、アキノタムラソウ、ヒツジグサ、ムラサキニガナ、アカゲラ、ブッポウソウ など

屋戸湿地

ハルリンドウ、コバノトンボソウ、トウカイコモウセンゴケ、ノギラン、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、サギソウ、サワギキョウ、シラタマホシクサ、スイラン、キイトトンボ、ハッチョウトンボ など



・ハッチョウトンボのオス、メスの見分け方



たくさんの写真を交えながら、未熟個体、成熟個体のオス、メスの識別方法について説明された。

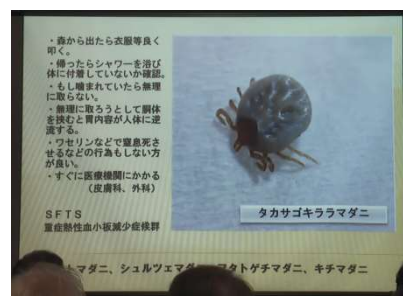
オスは全体が赤く、胸の前面に縦に1本線が入る。

メスは胸の前面は1本線ではなく、腹部に白の三角模様が入り、腹部先端に3つの突起を持つ。

・マダニについて

マダニに刺された際のエピソード、服装などの注意点、対策方法、症状と治療などについて、説明された。

またセミナー参加者からもマダニに刺された体験などの紹介もあり、他の参加者も興味深く聞き入っていた。



最後に

生物季節調査は10年前から行っている。調査コースについて毎年集計しているが人為的な攪乱もあり、調査コース全体の変化について特に考察は行っていない。観察された特定の種について、地区ごとに統計・集計すると何か見えてくるかもしれないので、今後の検討としたい。